

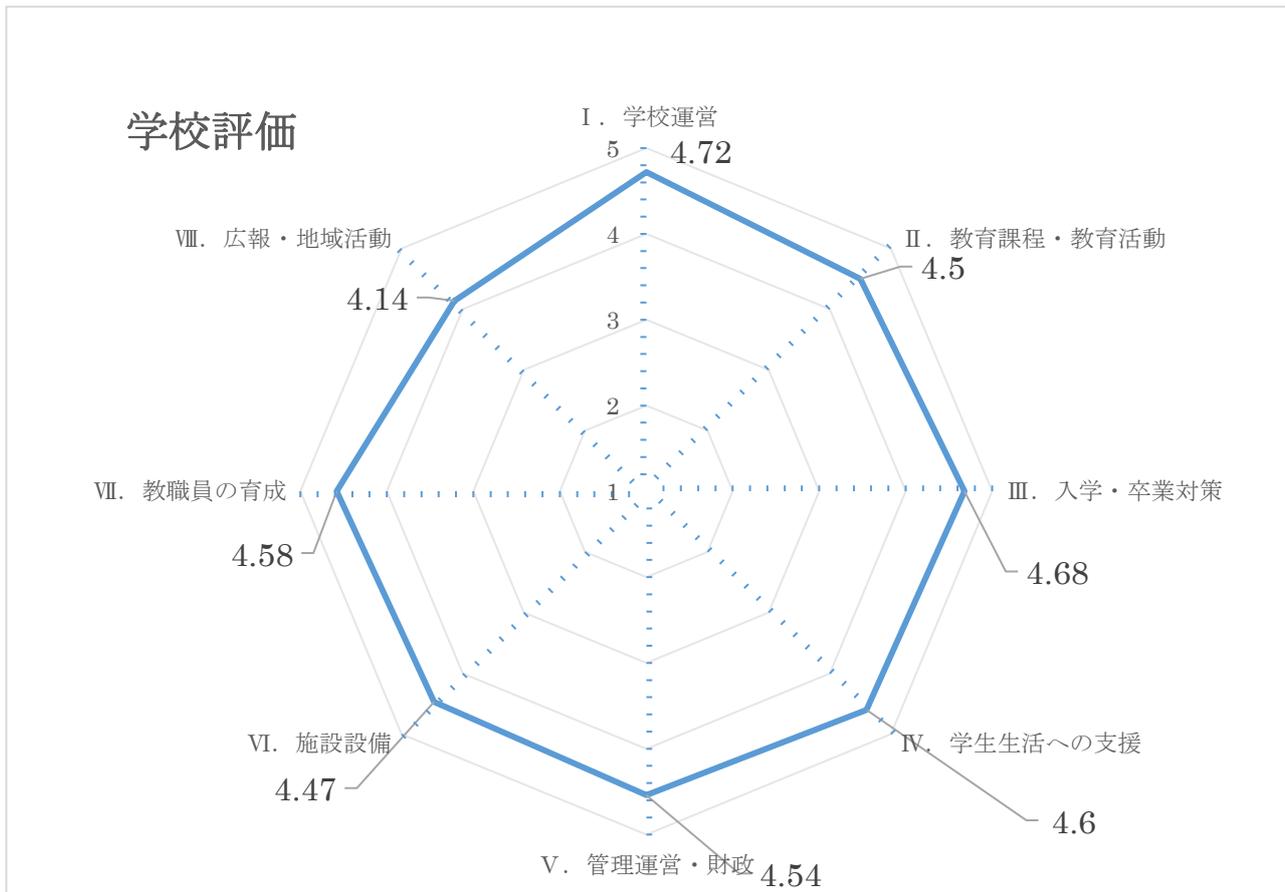
# 春日部市立看護専門学校の学校運営評価

本校では、教育機関としての機能の維持・向上を目的とし、学生から信頼され魅力ある学校づくりにつなげることを目標に、教職員による「学校評価」、学生による「授業(講義・実習)評価」、教員による「授業(講義・実習)評価」、「学生満足度調査(卒業時)」、「保護者満足度調査」を実施しております。今回は、令和4年度の結果を報告いたします。

## 令和4年度 学校運営評価について

1) 学校評価 ; 8 領域(42 項目) 5 段階評価

各領域ごとの細項目			
I. 学校経営	目標(運営目標・組織目標の策定)	IV. 学生生活への支援	進路相談の実施
	目標(運営目標・組織目標の評価)		学業継続のための支援体制
	評価内容の公表		学生の身体的側面の健康確保
	会議の開催と組織の機能		教科外活動の支援
II. 教育課程・教育活動	教育理念・目標の設定と分析	V. 管理運営 財政	計画的な予算の計画・執行・管理
	教育課程の評価		個人情報保護
	授業計画・評価の実施		危機管理体制
	時間割の妥当性		学生意見の反映
	指導方法・内容の妥当性	VI. 施設設備	施設・設備の安全・安心確保
	授業(講義・実習)評価の実施		設備・教材の整備
	実習環境・指導体制の妥当性		学生のための施設・設備の提供
	実習指導者と教員の協力		図書室の整備
	単位認定の公平性・妥当性		実習室・備品の整備
	実習時の倫理的配慮		VII. 教職員の育成
インシデントの把握・分析	学会・研修参加の成果の還元		
学生・教員自己評価の考察	臨床研修の実施		
III. 入学・卒業対策	受験生確保への取り組み	研究等の実施	
	看護師国家試験対策の実施	他教員の授業参観・リフレクション	
	学生相談の実施	専門領域の能力向上	
	卒業後の状況把握と支援	VIII. 広報・地域活動	広報活動の実施
	地域への就職率の向上		地域活動・地域貢献

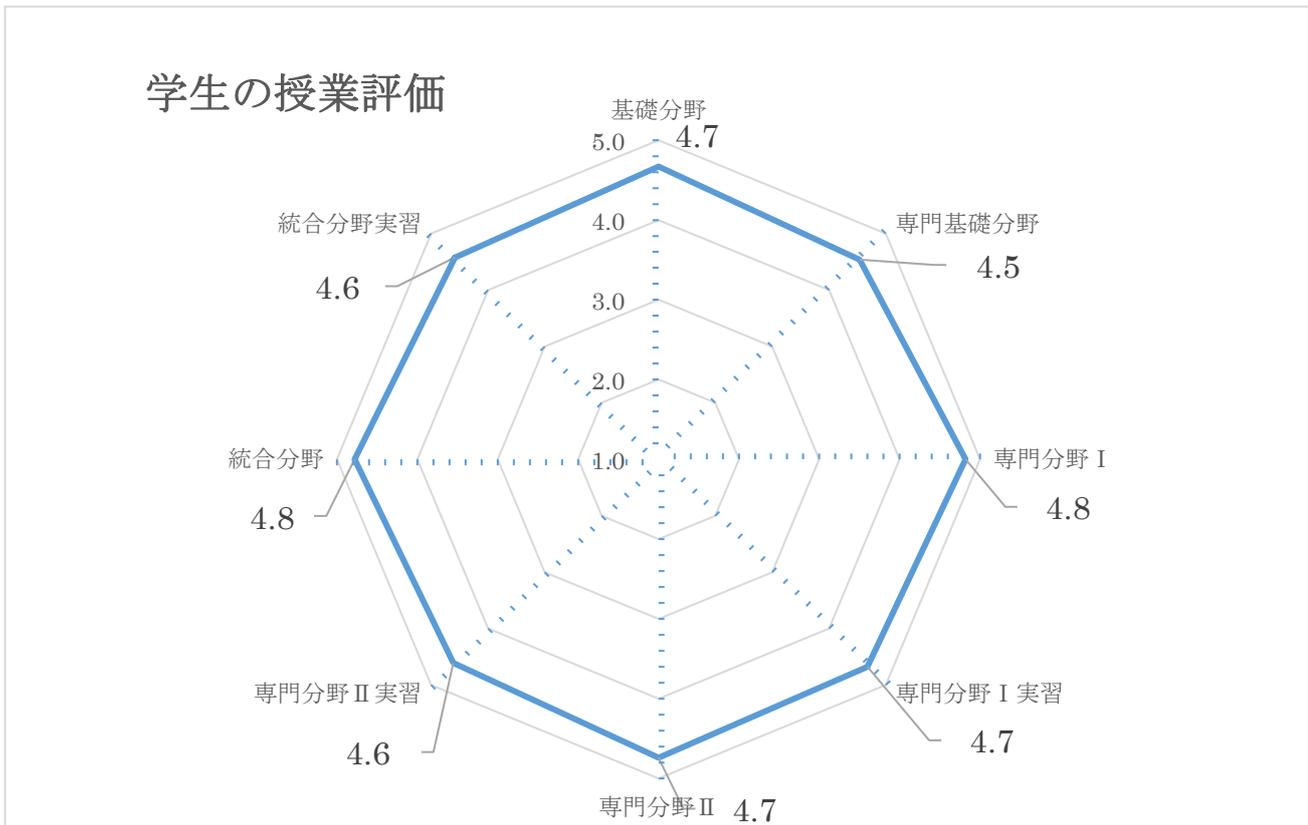


#### 《考察》

学校評価項目にそって、例年通り、8領域(42項目)5段階の評価基準で評価しました。その結果の全体平均は4.53となっています。8領域すべて4.0以上と全体的にバランスは整っているといえます。昨年度の評価をふまえ《VIII. 広報・地域活動》では、新たにホームページの定期的更新およびホーム画面一部変更、春日部市公式SNS（Twitterやフェイスブック）への学校行事の紹介、春日部女子高等学校「探求学習」の講師派遣、春日部ララガーデンイベント「はじめてのお仕事体験」ボランティア（教員・学生）など、コロナ禍ではありましたが、学校として出来る限りの活動を実施してきました。しかし、昨年度に引き続き、今年度も《VIII. 広報・地域活動》が8領域中、最も低い数値となりました。今後も、地域に根ざした学校運営を目指していきたいと考えております。

## 2) 学生による授業(講義・実習)評価

- 1) 授業(講義)の学生評価；15項目 5段階評価
  - (1)学生の講義への取り組み(4項目)
  - (2)講義の進め方(7項目)
  - (3)講義内容(3項目)
  - (4)学生の達成度(1項目)
- 2) 授業(実習)の学生評価；10項目 5段階評価
  - (1)学生の実習への取り組み(3項目)
  - (2)実習内容・方法(2項目)
  - (3)教員・指導者の関わりおよび環境(3項目)
  - (4)学生の達成度(2項目)



### 《考察》

学生による授業(講義)評価については、専任教員・外部講師が担当する全科目において評価を実施しました。今年度からカリキュラム改正があり、1年次の科目が変更となっていますが、すべての講義において4.5以上と大きな偏りはありません。今後も、学生が興味関心を持ち、主体的に学習していけるような教育活動をしていきたいと考えております。

また実習についても、すべての実習において4.5以上と大きな偏りはありません。コロナ禍において、実習期間・実習時間の短縮や学内代替案による臨地実習も多かったのですが、学生の満足度は高いと考えられます。今後も、学生評価を次の実習指導に役立てられるよう、努めていきたいと考えております。

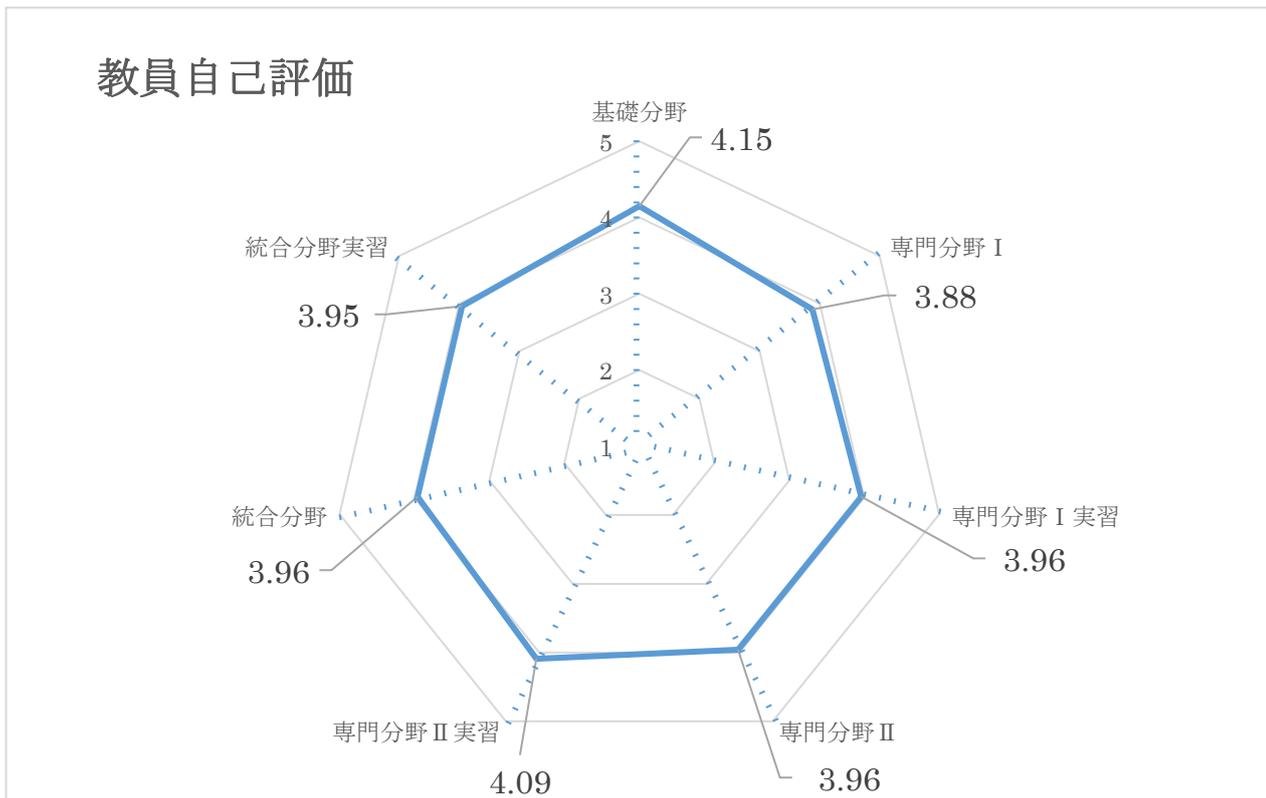
### 3) 教員による授業(講義・実習)自己評価

1) 授業(講義)の教員自己評価；20項目 5段階評価

(1)講義準備(8項目) (2)講義の実施(10項目) (3)教員の満足度(2項目)

2) 授業(実習)の教員自己評価；10項目 5段階評価

(1)実習指導準備(3項目) (2)指導内容・方法(4項目) (3)実習調整・連携(2項目)  
(4)教員の満足度(1項目)



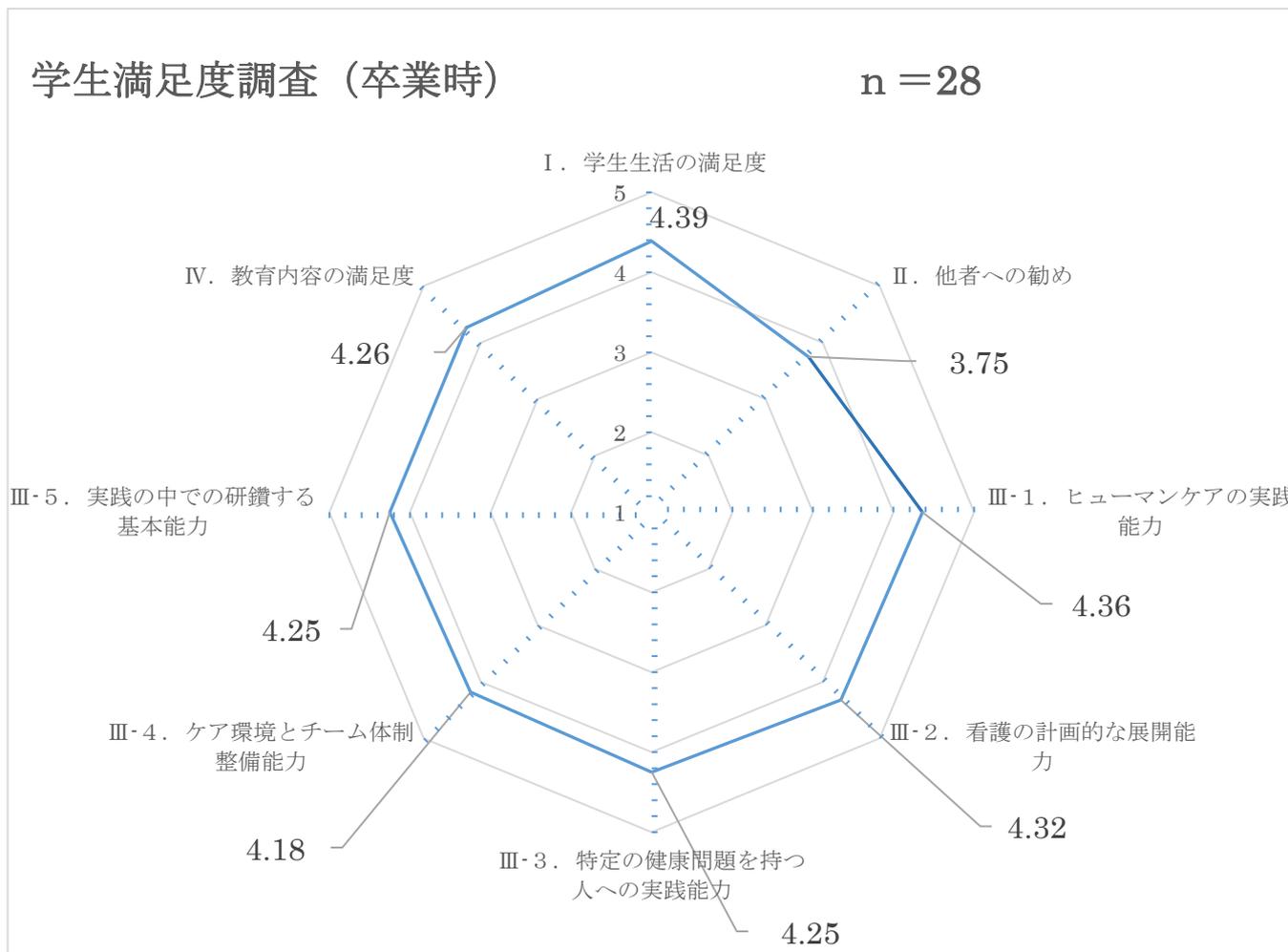
#### 《考察》

教員による授業(講義・実習)自己評価については、専任教員が担当する全科目において評価を実施しました。評価結果は、すべて授業において3.8以上と大きな偏りはありません。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、講義では、演習方法を工夫したりレポート課題を取り入れました。また実習では、臨地での実習ができない場合は、学内代替案に適宜、変更しました。急な教育方法の変更・工夫が必要な教育活動となるとともに、カリキュラム改正となり新規の科目を担当する教員も多く、学生による授業(講義・実習)評価に比べ低値となっています。今後も、教員自身が客観的に自己の教育活動を振り返る姿勢を忘れず、次年度の課題を明らかにしていきたいと考えております。

#### 4) 学生満足度調査(卒業時) ; 15 項目 5 段階評価

- (1)学校生活の満足度(1 項目)
- (2)他者への勧め(1 項目)
- (3)卒業時に身につけてほしい能力(5 項目)
- (4)教育内容の満足度(8 項目)



#### 《考察》

3年生(17期生)の卒業直前に、アンケート調査を実施しました。回収率は100%でした。卒業生の本校での学生生活の満足度は4.39、教育内容の満足度は4.26と高値でした。卒業時に身につけてほしい5つの能力においても、平均4.27とほぼ達成している状況と考えられます。

最後の自由記載欄には、「先生と学生の距離が近くて相談しやすく良い」「学生のために先生が色々考えてくれる素晴らしい学校」などの意見のほか、コロナ禍における教育方法への意見(オンライン授業の実施、臨地実習の学内代替え案の方法など)が寄せられました。教育方法については、今後も、専任教員だけでなく、外部講師とも連携して、効果的でより良い教育方法を再検討していきたいと考えております。

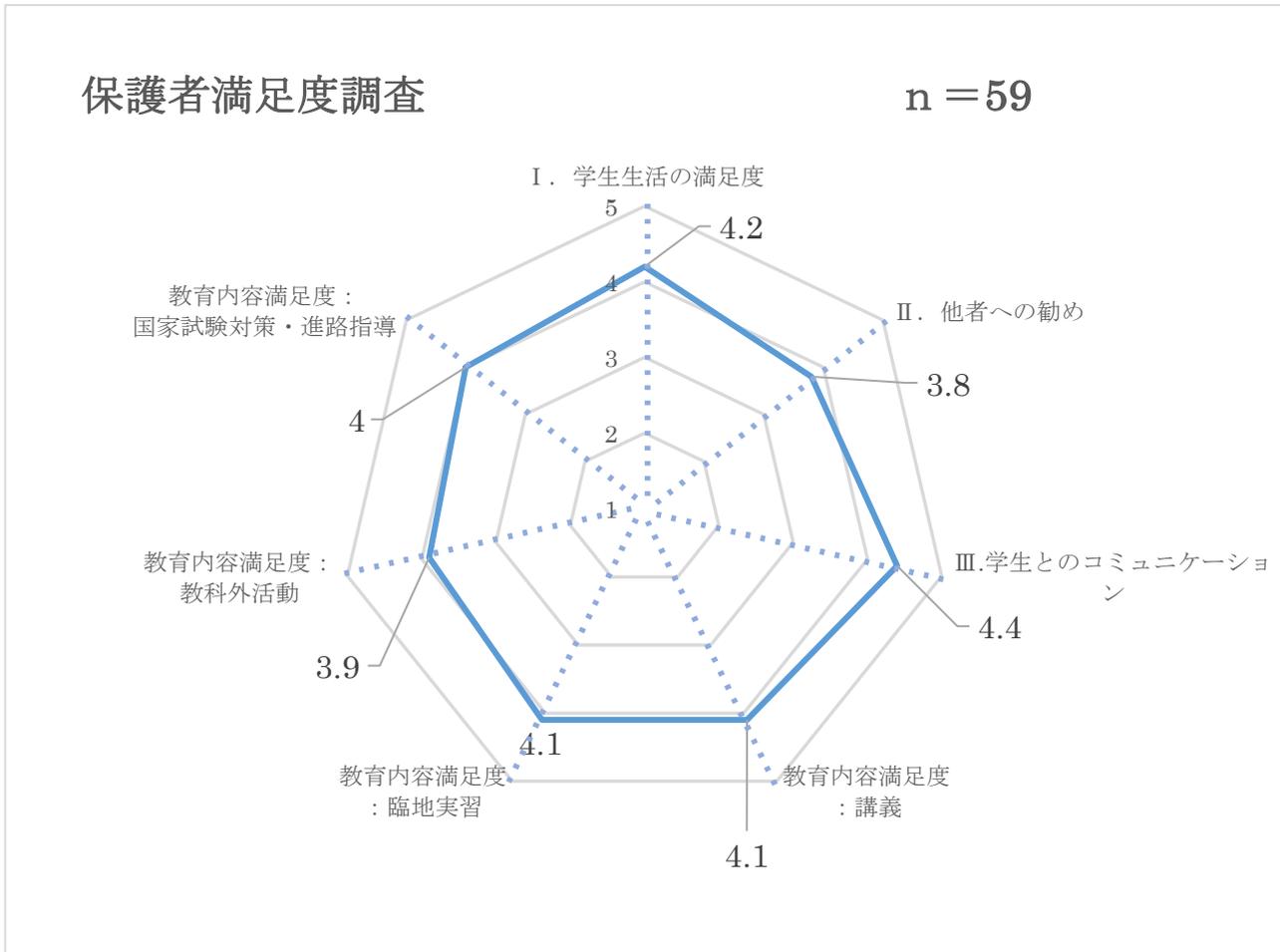
## 5) 保護者満足度調査 ; 7項目 5段階評価

(1) 学校生活の満足度(1項目)

(2) 他者への勧め(1項目)

(3) 学生とのコミュニケーション(1項目)

(4) 教育内容の満足度(4項目)



### 《考察》

調査書は学生経由で保護者にお渡しし、封書厳封の上、再び学生経由で回収させていただきました。回収率は 98.3%と高値で、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。保護者の《学生生活の満足度》4.2、《教育内容の満足度》4項目(講義・臨地実習・教科外活動・進路指導)の平均は 4.0 と高値でした。

最後の自由記載欄には、「コロナ禍でも工夫して学校運営してくれ感謝している」「国家試験にむけての指導を強化してほしい」などの意見が寄せられました。また、教育方法について(実習指導、課題について)の意見もありました。今後も、保護者のご意見や満足度を参考にしながら、学校運営に役立てていきたいと考えております。

## 今後の課題

本校の今後の課題は、①新カリキュラム(1・2年生)と旧カリキュラム(3年生)のスムーズな運用、②学生の社会人基礎力の育成、③施設の老朽化に対する関係機関との連携があげられます。具体的には、カリキュラム改正プロジェクトチームの解散後も、カリキュラムに対する具体的内容を教職員で共通理解する、学生の主体性・個別性を重視した教育活動を実践する、春日部市公共施設マネジメント計画会議への参加や公共施設事業調整担当者との連携による今後の検討などです。

学校評価については、「学校教育法」にて専修学校および各種学校の準用が規定されており、「専修学校における学校評価ガイドライン」において、自己点検・自己評価およびその結果公表について、義務化されています。今後も、学校運営評価の考察から、組織的・継続的な改善方策の策定や実施に努めていきたいと考えております。